

2020年3月期第2四半期 決算説明会

株式会社アイネス
代表取締役社長
森 悦郎

2019年10月29日

I. 2020年3月期第2四半期決算 ならびに通期業績予想

II. 資本・財務施策

III. トピックス

I . 2020年3月期 第2四半期決算 ならびに通期業績予想

I - 1 20年3月期 第2四半期 決算概要

- 元号改正など各種法改正案件により営業・経常で増益基調
- 横浜事業所売却に伴う特別損失により最終では赤字

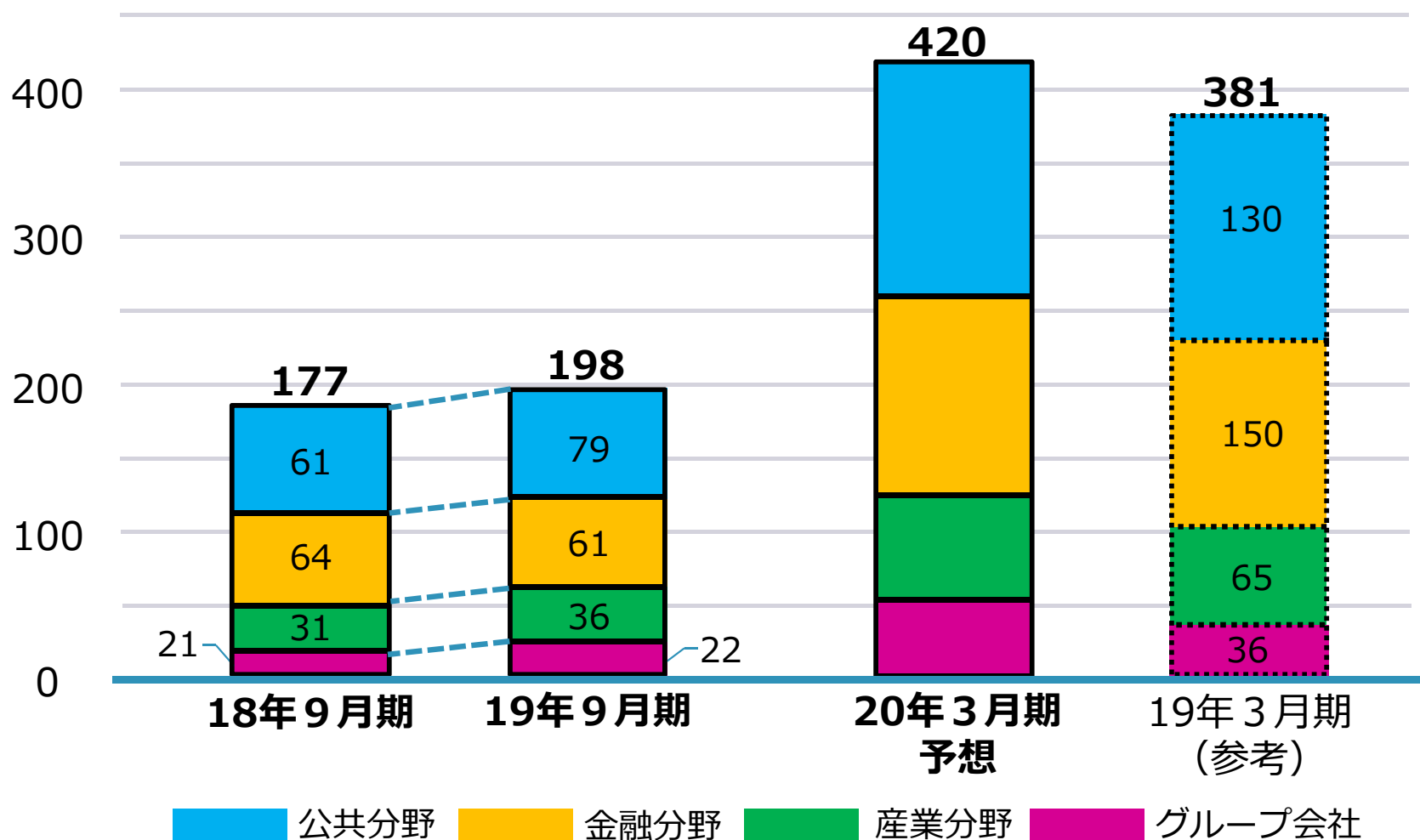
[単位：百万円]

	19年3月期 第2四半期	20年3月期第2四半期		
	実績	実績	対前年差	対前年比
売上高	17,655	19,822	+2,167	+12.3%
コア営業利益	597	1,708	+1,111	+186.1%
オフトコスト 移転コスト	—	△214	△214	—
営業利益	597	1,495	+898	+150.3%
経常利益	631	1,520	+889	+140.8%
特別損益	△1	△2,494	△2,493	—
当期純利益	359	△784	△1,143	—

I - 2 20年3月期 業種別売上高

➤ 公共分野 自治体向けが増収

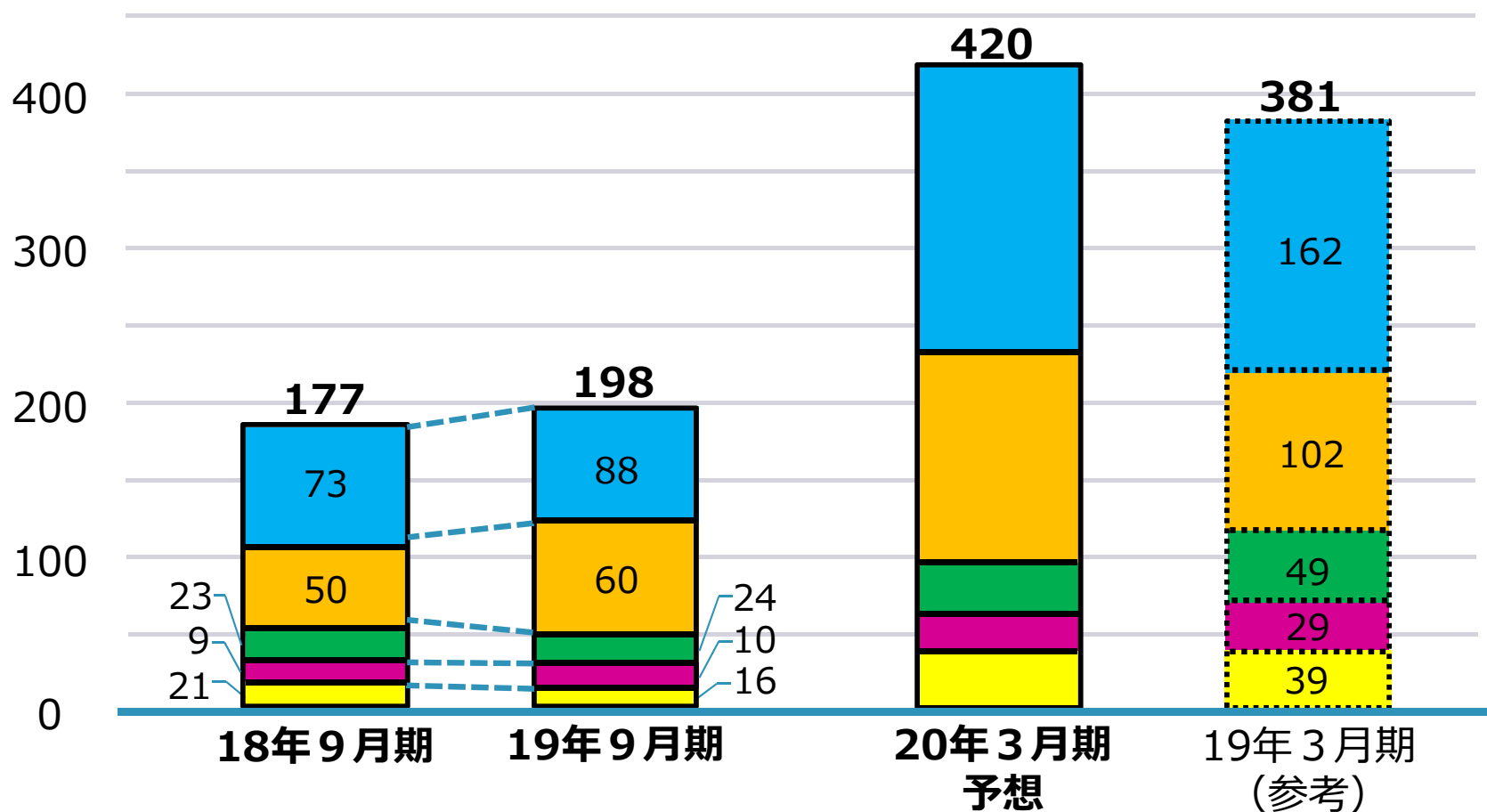
[売上高：億円]



I - 3 20年3月期 商品別売上高

➤ システム開発、運用、システム保守でいずれも増収基調

[売上高：億円]



■ システム開発 ■ 運用 ■ システム保守 ■ 情報機器販売 ■ その他

I - 4 20年3月期 通期業績予想

➤ 通期業績では増収、コア営業利益では増益見込み

[単位：百万円]

	20年3月期 第2四半期	19年3月期 通期	20年3月期通期	
	実績	実績	予想	対前年差
売上高	19,822	38,143	42,000	+3,857
コア営業利益	1,708	2,169	2,800	+631
オフィス 移転コスト	△214	0	△800	△800
営業利益	1,495	2,169	2,000	△169

(※)コア営業利益は、オフィス移転コストを除いた営業利益

➤ 三番町本社、横浜事業所の売却により、バランスシートスリム化

三番町本社

- ・ 簿価 85億円
- ・ 面積 土地 約1,700m²
 建物 約9,000m²
- ・ 譲渡年月 2019年10月
- ・ 売却益 44億円



横浜事業所

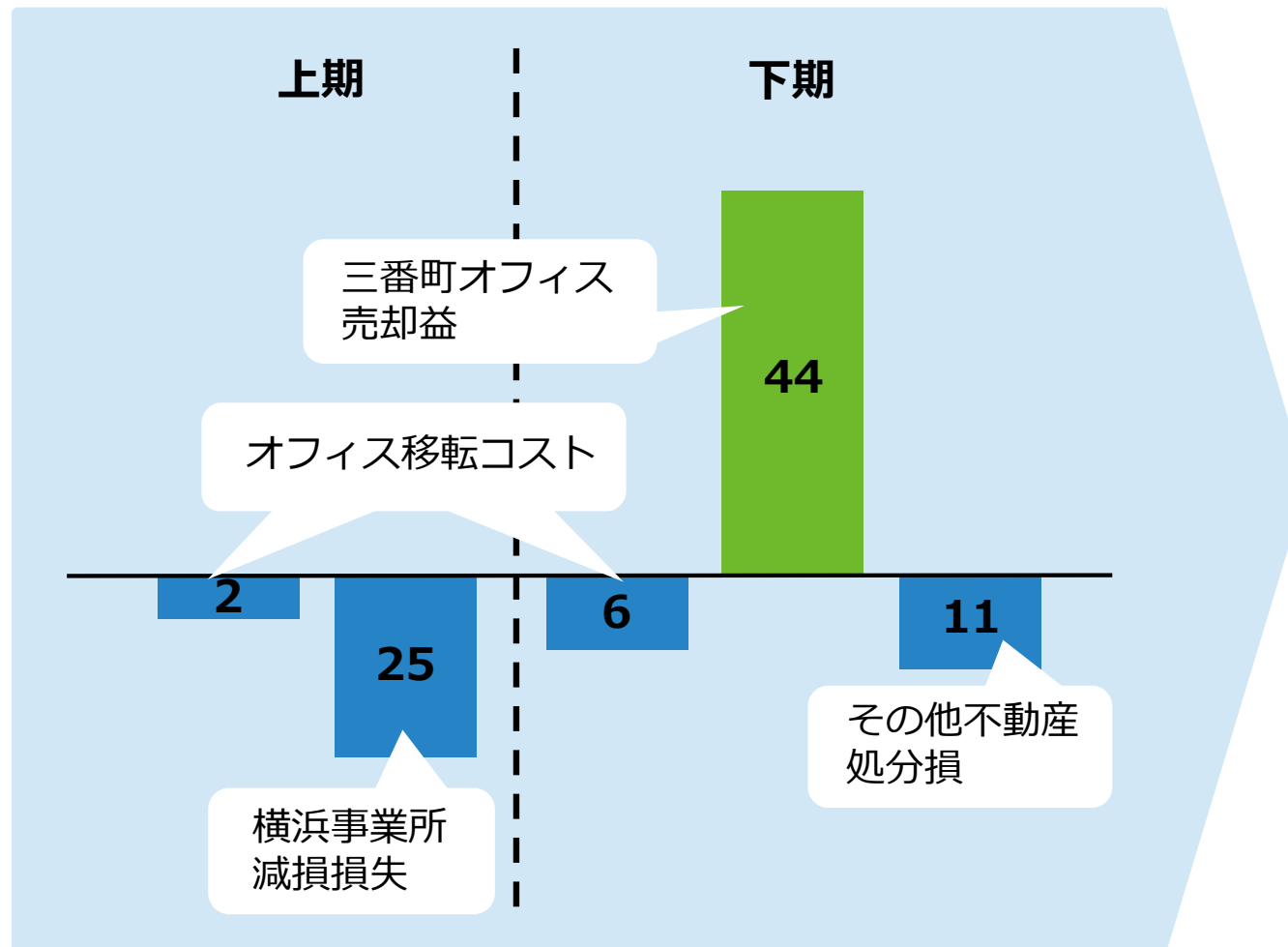
- ・ 簿価 85億円
- ・ 面積 土地 約9,800m²
 建物 約18,000m²
- ・ 譲渡年月 2019年10月
- ・ 減損損失（譲渡損失） 25億円

I - 5 20年3月期 臨時損益②

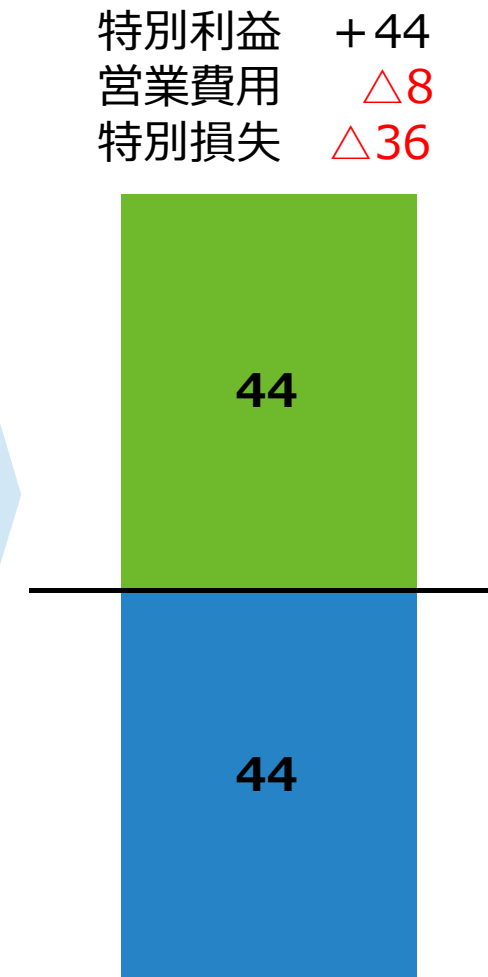
➤ 不動産処分、オフィス移転等の臨時損益は通期で相殺

[単位：億円]

19年度通期臨時損益内訳



19年度通期臨時損益



I - 6 20年3月期 通期業績予想の上方修正

[単位：百万円]

	20年3月期			19年3月期
	通期業績 予想	前期比	修正前 予想	通期実績
売上高	42,000	+3,857	40,000	38,143
コア営業利益	2,800	+631	2,400	2,169
オフ 移転コスト	△800	△800	△800	—
営業利益	2,000	△169	1,600	2,169
経常利益	2,050	△183	1,650	2,233
特別損益	800	+836	800	△36
当期純利益	1,850	+358	1,550	1,492

Ⅱ. 資本・財務施策

Ⅱ-1 配当方針

配当

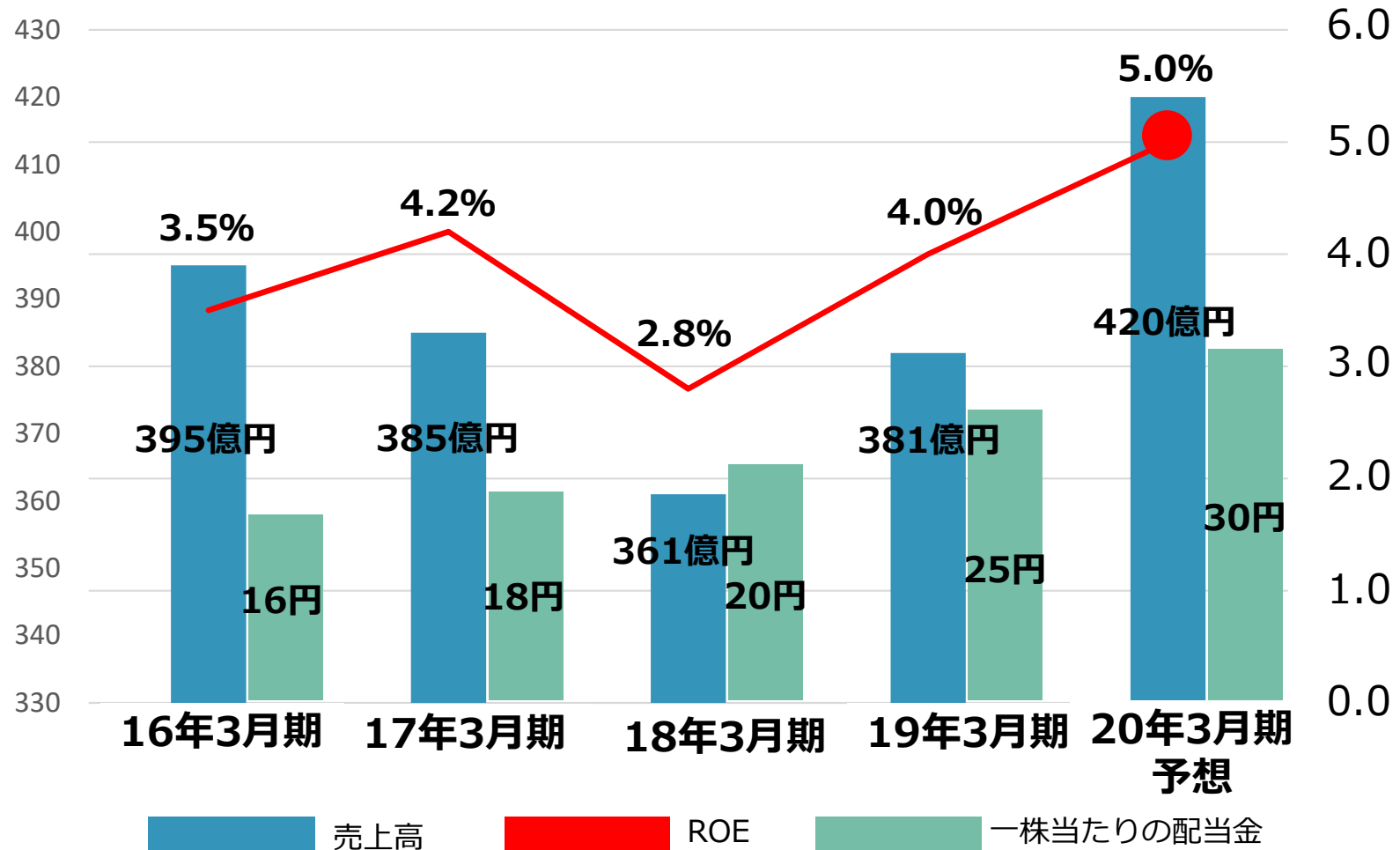
- 中間配当は一株当たり15円を実施
- 年間配当予想は30円（前期比5円増配）

	16/03	17/03	18/03	19/03	20/03 予想
1株当たり 配当	16円	18円	20円	25円	30円
配当性向	33.4%	29.9%	49.4%	43.9%	38.8%
ROE	3.5%	4.2%	2.8%	4.0%	5.0%

Ⅱ-2 ROE推移

[売上高：億円]

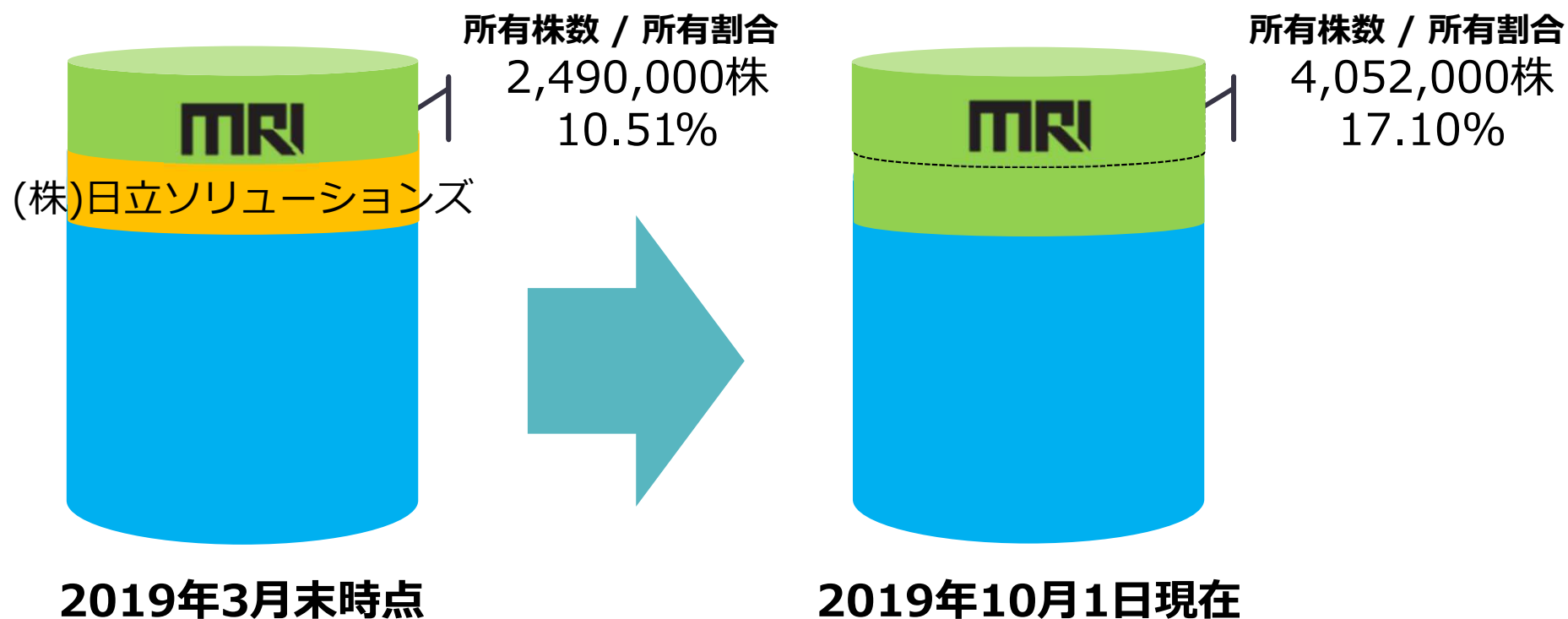
[単位：%]



Ⅱ-3 大株主の異動

株式会社三菱総合研究所(MRI)による当社株式の追加取得

- 相互の企業価値向上に向け提携関係をさらに強化

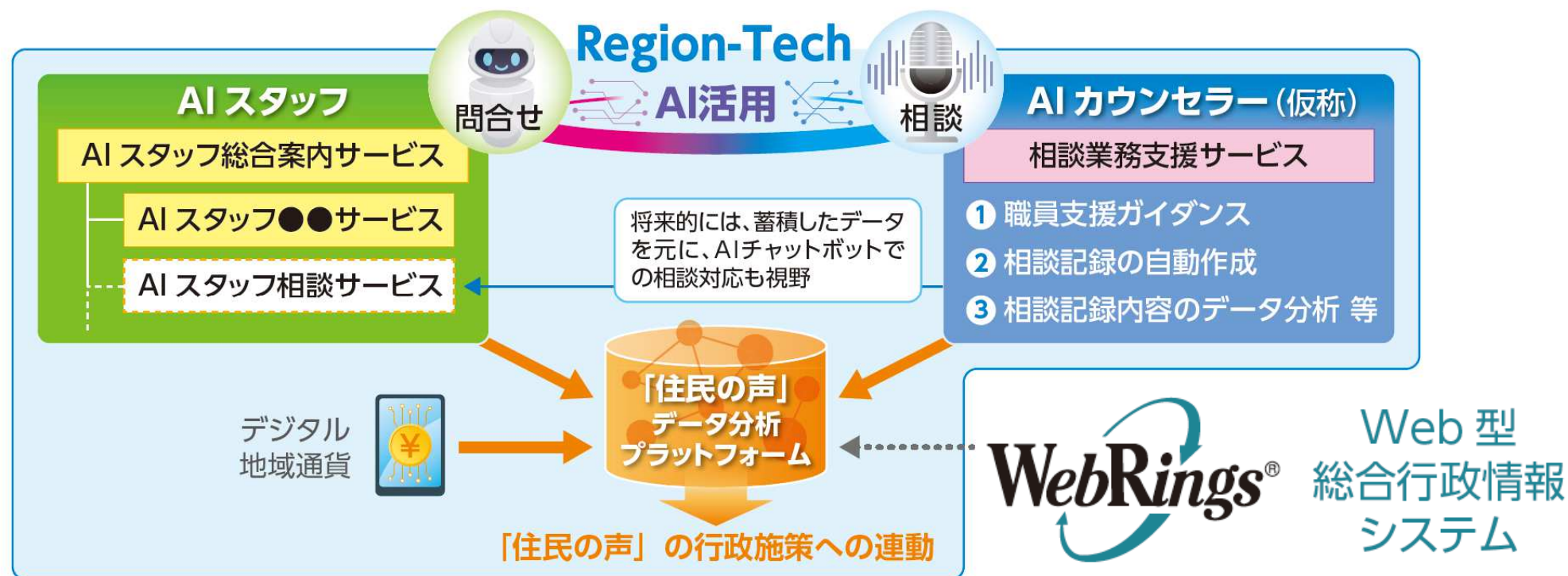


Ⅲ. トピックス

Ⅲ- 1 M R I との提携状況（その1）

1. Region-Tech構想の推進

- ✓ 「A I カウンセラー」（自治体向け住民相談業務支援サービス）
→ 20年4月より児童相談業務より順次リリース
- ✓ 複数自治体とのA I スタッフ、R P Aの実証実験、共同での受注活動推進



2. 食品事業者向けHACCP(※)ナビの共同開発

- ✓ 「HACCPナビ」(食品安全マネジメントシステム導入・運用支援サービス)
→ **20年初頭より順次リリース**
- ✓ 「ハザード・データベース」「文書作成支援システム」「モニタリング記録システム」機能をクラウド型で展開。AI・IoTを活用した機能拡充。



<http://haccpnavi.com/>

(※)HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point) 改正食品衛生法 18年6月公布

 アイネス
未来を考えるIT企業

- ✓ PMO事業、AI事業におけるMRIへの支援
- ✓ MRIグループとの銀行市場系、信託、証券等の共同市場開拓

M3 株式会社三菱総合研究所

AIワンストップサービス

AI導入に関するお悩みを抱えるお客様へ、弊社が誇るトップクラスのAI/データサイエンティストが中心となり、お客様のニーズに合わせたサービスをワンストップでご提供いたします。

今がAIに取り組むべきタイミングです！

- **機械学習技術、計算機性能の進歩により、特定条件下では既に人に匹敵し、もくもくは人を越える知的行動をコンピュータにて代替可能です。**
- **適切な領域に適切な手法で適用できれば、「支援」「高度化」「予測」「効率化」は十分可能で、既存手法と組み合わせることで「完全な自動化」も可能になっています。**

機械には難しい
自然言語理解
常識推論
今まで機械には難しいとされてきたものがAIで可能になる

AIを使う必要性はない
単純な計算
一定のルールで動作を制御する

ソフトウェアが必要

機械には難しい
誰でもできる

AIでは難しい
マーケティング予測
リソース配分
人の考えをAIに教える
AIで推論を改善可能

人の持つノウハウをAIへ移植
人の考えをAIに教える
AIで推論を改善可能

AIが有効な領域がどんどん広がっています

どうやって始めればいい？

データをどのように得てくる？

どうやって費用に組み込む？

どうして高度化が必要？
WaaS?
セキュリティは？

AIをどう導入する？

データエンジニアはどのくらい必要？

AIを活用する際には正しい課題設定とデータ分析、基礎調査ができないと結果は得られません。

また、データやセキュリティな環境、それを扱うデータエンジニアも必要です。

三菱総合研究所ではAI導入時のお悩みもワンストップでご支援することが可能です。

アイネス
未来を考えるIT企業

19.09.30 愛媛県および県内5市町のA Iチャットボット共同実証を支援

[illegible]

Ⅲ- 2 新東京本社への移転

働き方改革、テレワーク推進、オープンイノベーションの創出を
目指した先進的オフィス環境



【東京本社】

所在地：東京都中央区晴海三丁目10番1号

アクセス：最寄駅 都営大江戸線「勝どき」駅より徒歩10分



ご清聴ありがとうございました。

ご注意

※本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、内外の経済や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

※本資料に掲載されているサービス及び商品等は、株式会社アイネスあるいは各社等の登録商標または商標です。